

## 洪水ハザードマップをまちなかへ ～地域住民で作り上げた洪水関連標識を設置します～

能代市・国土交通省能代河川国道事務所では、まるごとまちごとハザードマップ※)作成にむけ計3回のワークショップ(「中川原地区ハザードマップ作成ワークショップ」)を実施しました。その成果として、**地域住民の方々の手で「洪水関連標識」が設置**されます。

※) まるごとまちごとハザードマップとは、生活空間である市街地に、河川はん濫時の浸水深や洪水時の避難所等、地域の洪水に関する情報を**洪水関連標識**として表示する取り組みです。

国土交通省能代河川国道事務所では、**能代市中川原地区**を米代川流域の**モデル地区**として、ワークショップ形式により、地域住民の方々の意見を取り入れながら官民協働で検討をすすめてきました(中川原地区ハザードマップ作成ワークショップ:計3回、**総勢約50名**が参加)。

### 「洪水関連標識」設置作業概要

- 実施日時： 平成22年3月30日(火) 13:30～  
(住民の方々による設置作業は、13:30から1時間程度を予定しており、その後は、専門業者による設置作業となります。)
- 集合場所： 中川原会館  
(住所:能代市中川原26 \*詳細位置は別紙参照)
- 参加予定者： 中川原地区住民、能代市、国土交通省能代河川国道事務所 等
- その他：
  - ・取材は随時可能です。
  - ・今回設置する標識は「中川原地区ハザードマップ作成ワークショップ」にて検討した成果となっています。
  - ・標識位置の検討にあたっては、秋田工業高等専門学校 水田准教授からご指導、ご助言をいただいております。
  - ・電柱への標識設置にあたっては、(株)NTT東日本秋田支店・東北電力(株)能代営業所からご協力をいただいております。
  - ・標識製作等にあたっては、(社)東北建設協会「みちのく国づくり支援事業」の支援を受けています。

#### <記者発表先>

- ・能代記者クラブ
- ・北秋田記者クラブ
- ・大館記者クラブ

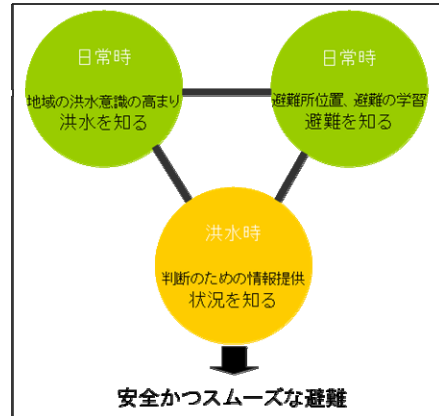
#### 【問い合わせ先】

能代市 総務部 総務課 防災危機管理室  
TEL 0185-89-2115/ FAX 0185-89-1762  
防災危機管理室長 宮越真人  
国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所  
TEL 0185-70-1001(代表)/ FAX 0185-70-1118(代表)  
調査第一課長 平山孝信 / 水防企画係長 成田雅昭

## 「まるごとまちごとハザードマップ」とは...

### 【目的】

浸水深や避難所等洪水に関する情報を洪水関連標識として生活空間である「まちなか」に表示することにより、日常時には洪水への意識を高めるとともに浸水深・避難所等の知識の普及を図り、発災時には安全かつスムーズな避難行動に繋げ、洪水による被害を最小限にとどめることを目的としています。




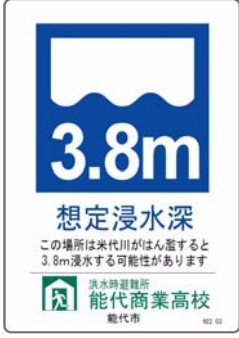


### 【洪水関連標識】

中川原地区内には、①**想定浸水深**（注）を示す標識、②**洪水時の避難所**を示す標識、③それら両者が複合した標識の3種類の標識を設置します。

なお、ワークショップでの検討結果をもとに、多くの人の目に付く場所、避難経路の主要な場所等にある電柱や街灯などに標識を設置します。

### 【標識の種類】

洪水標識 (想定浸水深)	洪水時避難所 標識 (誘導型)	複合標識 (洪水標識 + 避難所標識)
 <p><b>想定浸水深 高さ表示板</b> 「想定浸水深」の 位置を示す標識</p>	 <p>避難所名、避難所 までの方向と距離 を示す標識</p>	 <p>洪水標識と洪水時避難 所標識の両方を併せた 標識</p>
 <p><b>想定浸水深説明板</b> 「想定浸水深」の 意味を示す標識</p>	<p>※路面から「高さ表示板」の青線まで の高さが想定浸水深です。</p>	<p>能代市 H22.03</p>

(注) 【想定浸水深】米代川がはん濫した場合に想定される浸水の深さ

まるごとまちごとハザードマップ 標識設置箇所 位置図



まるごとまちごとハザードマップ イメージ図

